

「第二回 航空機事故と災害派遣～ JAL123便墜落事故から40年 現場からの証言」

7月28日シンポジウム開催のお知らせ



提供元：「中警団新聞 昭和60年（1985年）9月15日」より

1985年8月12日に起こった日本航空123便 御巣鷹山墜落事故から40年。

当時の記憶が薄れていくなか、事故があたかも自衛隊による犯罪であるかのような言説、更には自衛隊がその証拠隠滅を図ったなどのような自衛隊を貶める情報が拡散されています。

この件について、本年4月10日参議院外交防衛委員会において佐藤正久議員の質問に対し、中谷元防衛大臣より「自衛隊の事故原因への関与等は断じて無い。自衛隊の名誉を守るには、明確な否定と正確な情報の発信が非常に重要」との答弁がありました。

そこで40年目のこの夏、後世に事故の事実と正しい情報を伝え、当時災害派遣に従事した自衛官と関係者の名誉を守ることを目的として、シンポジウムを開催いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

- 第一部：基調講演 「JAL123便墜落事故 災害派遣 体験談」
岡部 俊哉（第35代陸上幕僚長、JAL123便事故派遣隊員）
- 第二部：当時の現場関係者からの証言
元海自 垂直尾翼を発見揚収した護衛艦まつゆき乗組員、
元陸自 事故派遣隊員、元空自 戦闘機パイロット、事故現場入りカメラマン

参加お申し込み方法

1



EMAIL・Eメール
2025JAL123@gmail.com

ご氏名、御連絡先（電話番号）、お勤め先または所属団体、ご住所もしくはお住まいの都道府県をご記入願います。

2



FAX
03-6264-1042

ご氏名、御連絡先（電話番号）、お勤め先または所属団体、ご住所もしくはお住まいの都道府県をご記入願います。

3

QRコード
(WEB申込)

スキャンして
入力して下さい。



日時・場所

- 2025年7月28日(月)
受付14時半～
開会15時
閉会17時予定

- 衆議院第一議員会館 地下一階
大会議室
東京都千代田区永田町
2-2-1

最寄駅：

- 丸ノ内線・千代田線
「国会議事堂前駅」徒歩2分
有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」徒歩4分

- 参加費無料

主催

「JAL123便 事故究明の会」

会長 岡部俊哉（第35代
陸上幕僚長、JAL123便
事故派遣隊員）

1985年8月12日の日航
123便事故の事実を後世
に正しく伝え、当時の関
係者及び自衛官の名誉を
守ることを目的とする有
志の会です。

お問い合わせ

山本優美子
(事務局担当)まで

Email:
Japannetwork1@gmail.com